

学校だより



川西市立多田小学校

2月号 平成30年2月1日

学校HP：<http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

一年の中で最も短い2月が始まりました。寒さが一番厳しくなる時期でもあります。が体調は大丈夫でしょうか。

この時期に植物に与える肥料のことを「寒肥(かんごえ、かんぴ)」と言います。植物は、この寒い時期に栄養となる肥料を与えると、春からどんどん成長し、立派に育っていきます。人も同じことで、この時期にどのように鍛えるかで、春からの成長につながります。子どもたちも、寒いからと閉じこもってばかりではなく、この厳しい寒さだからこそしっかりと体を鍛え、そして、心を強くしてこれからやってくる春につなげていってほしいと願っています。

◎かかわりの中で生きる力を育てる

人とうまくかかわっていく力や、自尊感情を持つということが大切だということをよく耳にします。人は、自分の人生を自らの力で切り拓き、社会の中で生きていきます。人は一人では生きていけません。学校では、自分の良さを見つけ、自分の力を伸ばしていくところです。日々の学習や生活の中で生きて働く知識や技能を身につけ、豊かな心を育てています。友達や先生、多くの人たちとのかかわりの中で社会性を育み、生きる力を育てていきます。

そこで大切にしてほしいことが『あいさつ』です。

一学期の初めから「あいさつをしょう」と取り組んでいます。生活委員の子どもたちも毎週月・水曜日の朝「あいさつ運動」に取り組んでいます。私も、毎朝校門で声をかけています。地域の方々からも声をかけていただきます。『あいさつ』は人の心と心を繋ぎます。

学校だけでなく、家庭や地域でも、人とのかかわりの中で「生きる力」を育てていきたいと思っています。



◎春を迎える前の節分

2月3日は節分です。「節分」は「季節を分ける」と書き、季節が移り変わる時という意味があります。日本には春・夏・秋・冬というように四季があります。この4つの季節の始まりが旧暦(太陰暦)の立春・立夏・立秋・立冬で、その前日を「節分」といいます。なので「節分」は一年に4回もあることになります。

一般に一年の始まりは元旦(1月1日)ですが、旧暦では立春が一年の始まりとされていたため、決まり事や季節の節目はこの日が起点となっており、八十八夜や二百十日なども立春から数えます。このように立春は新年を迎えるのと同じくらい大切な節目だったため、立春の前の日の節分だけが日本の生活の節目として残っているのです。

立春を一年のはじまりである新年と考えれば、節分は大晦日(おおみそか)にあたります。平安時代の宮中では、大晦日に陰陽師らによって旧年の厄や災難を祓い清める『追儺(ついな)』の行事が行われていました。室町時代以降は豆をまいて悪鬼を追い

出す行事へと発展し、今の時代に続いているのです。

豆まきの他、鬼を払うため鬼が嫌うイワシの頭を焼いて柵の枝に刺し、それを家の戸口に置く、「焼嗅(やきかがし)」という風習、イワシ料理や炒った大豆を歳の数だけ食べる習慣などもあります。みなさんのお家では何をされるのでしょうか。

新たな気持ちで立春を迎え、今の学年での締めくくりをしましょう。

◎おかげさま・ありがとう

「いいことはおかげさま、わるいことは身から出たさび」これは、相田みつを氏の言葉です。ここまで謙虚になるのは大変かもしれませんが、一歩でも近づきたいものですね。

江戸時代に日本を訪れた外国人の多くが、日本人の礼儀の正しさ、誠実で親切であること、誰もが学ぶ意欲を持って教養があることなどに驚き、敬意を表したと聞きます。もちろん多くの日本人は、今もそうであると思いますが、そうでない人が増えてきていると感じることもあります。

今年度も、残り2カ月となりました。毎日のせわしい生活の中で、悩みや苦しみなどが積み重なって、時には怠け心が頭をもたげたり、卑怯な気持ちがよぎったりしそうになります。それらが積み重ならないように、心のちりやほこりを払って、「いいことがあったら、それは周りの人のおかげ、悪いことがあったとしたら、それは自分に大部分の原因があったから」というくらいに、相田みつを氏のように考えて気持ちを切り替え、新年度を迎える準備をしたいものです。感謝の気持ちを忘れずに。

たくさんの参加ありがとうございました！

～ ふれあい集会 大盛況 ～

地域のみなさん、保護者のみなさん、多田幼稚園の子どもたちと、たくさんの方々に来ていただき、楽しく有意義なふれあいの時間をもつことができました。

各学級のこどもたちが準備してきたゲームや出し物で楽しんでもらいました。



お世話いただいた PTA 役員のみなさん、ボランティアグループのみなさん
ありがとうございました。

※日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。